



森づくり通信

No.6
平成20年6月30日

みやざき森づくりボランティア協議会

蒸し暑い日が続きますね。梅雨明け宣言はいつになるのでしょうか。待ち遠しいですね。「NPO法人 子どもの森」の協力で、門川町にある森の学舎におきまして、6月21日（土曜日）に研修会、22日に総会を開催することができました。多数のご参加ありがとうございました。協議会加盟団体のまとまりの良さを改めて実感いたしました。

平成20年度みやざき森づくりボランティア協議会総会

1. 会長のあいさつ



子どもの森の皆様
ご苦労様でした。

平成15年に、森づくり活動を行うボランティア団体の親睦と情報交換を図ることを目的に協議会を設立しました。今年度、環境ボランティアグループ環の会とNPO法人ひむかり山自然塾が新たに加盟され、16団体となりました。現在までいろいろな活動を行ってきましたが、これからは若い人の新しい考えも取り入れながら、各団体の協働による取り組みにも積極的に取り組んでいき、協議会も変わっていく時代が来ていると思います。そのために皆様の協力をよろしくお願いいたします。

1. 19年度決算報告、20年度予算案について

宮崎県緑化推進機構の服部様より「森林づくり団体活動支援事業」の実績報告と実費経費一覧や収支予算書の提示があり、昨年度、意見として出ました森林環境税からの補助の用途について、わかりやすい内容であったと思います。特段の質問もなく決議されました。

2. 平成20年度の活動について

(1) 徳野貞雄氏講演会

平成20年6月21日（土）門川町森の学舎

(2) 「船に乗って学ぼう」進洋丸体験乗船

平成20年7月12日（土）、13日（日）南郷町外浦港

(3) 宮崎市環境フェア

平成20年10月4日（土）、5日（日）宮崎市フローランテ宮崎

(4) 森から海までシンポジウム（ざぶん賞作品展示会）

平成20年11月～平成21年2月、期日未定

前頁の四案に対して討議しました。事務局より提案いたしました第4案のシンポジウムの開催に関しましては、予算は森づくりに使うべきであるという意見と、広報啓発という意味でもシンポジウムの開催も良いのではないかという意見と出ました。今後、理事会にて検討していくということで決議いたしました。(16団体中10団体の出席にて成立)

3. 平成20年度役員

会長：圖師哲夫（ロキシーヒル）

副会長：樫本壽士（どんぐり1000年の森をつくる会）

理事：横山謙一（子どもの森）

前原満之（水源の森づくりをすすめる市民の会）

岩倉尚哉（宮崎グリーンヘルパーの会）

監事：児玉暁子（MFV会）、大野裕（日向市ふるさとの自然を守る会）

事務局：飯干喜恵（MFV会）

研修会について

1. 講演 「農山村振興とT型集落点検」

熊本大学文学部総合人間学科地域社会学教授の徳野貞雄氏に上記の演題で話して頂きました。秋葉原の殺人事件の話に始まり、色々な切り口で、社会問題を語りながら、飽きのこないパワフルな語り口が印象的でした。中山間地問題を抱える宮崎県において、とてもタイムリーなこの講演に、一般参加の地域住民や、近隣市町村の関係者など70名ほどの入場となりました。先生のパワーは、夜中まで持続いたしておりました。脱帽・・・



《感想》

まず、秋葉原の殺人事件では、人と食事をする環境や交友関係があれば、人を殺すことを思いとどまっただろうとのお話で、人との関係が薄い都会の環境も一因であろうとのことでした。また、最近よく耳にする、過疎山間地域の活性化というものは、地域おこしと称するイベントで、地区外の人が入ってくるのではなく、その地域に住むことが本当の活性化であると説かれました。なるほどです。テレビを買う、買わないの比較は、目から鱗のお話でした。勘違いしないように気をつけましょう。何より、山村地域が持つ自然や環境、地域の間人関係や生活財は、都会に比べると生活指標が高く、経済面のハンディは、自給の生活を行っている田舎の人には、給与は安くてもやっつけていける現実があるとのことでした。こちらもなるほど。愛ある詐欺師になろうと誓った私でした

《徳野貞雄先生の著書の紹介》

「農村（ムラ）の幸せ、都会（マチ）の幸せ」NHK出版 740円・・・一読の価値あり

植樹地の見学

雨の中、門川高校と合同で取り組んでおられる“GOKANの森”（平成19年3月植樹）と、西門川三ヶ瀬の植樹地（平成18年3月植樹）を案内していただきました。GOKANの森では、門川高校の黒木先生と生徒の後藤君ら二人が説明をしてくださいました。生徒手作りの階段や東屋（野鳥の観察のため）がありました。実習フィールドが縮小方向に向かっている現状を残念そうに語られているのが印象的でした。ネイチャーゲームやクラフト創作活動に活用されている西門川三ヶ瀬のフィールドは、雑木林から杉との混合林まで、見学者をやさしく迎え入れてくれる癒しの森でした。民有林であるとのことで、地主さまとのつながりを大切にされた手作りの素晴らしいフィールドでした。横山代表御苦労さま！！



ねずみ男ではありません。横山です



連絡事項

1. 総会で使用した資料を、参加できなかった団体には、同封いたしました。団体名簿については、新しいものを全団体に同封いたしております。間違いなどありましたら、事務局まで連絡してください。
2. 森林づくり活動の高校生への普及啓発活動に対し、本年度申請を考慮しておられる団体は、早めに企画書を緑化推進機構に提出してください。助成枠に限りがあります。
3. 協議会所有の用具について、貸出は常時しております。使用希望の団体は、早めに事務局へ連絡してください。（総会資料の用具一覧を参照）
4. 平成20年度の会費未納の団体は納入をよろしくお願いいたします。年会費は三千元です。

【入金先】 宮崎銀行 県庁支店（普通預金）19236

みやざき森づくりボランティア協議会 会長 函師 哲雄

事務局の住所

〒889-1605 宮崎県宮崎郡清武町加納乙320-95

みやざき森づくりボランティア協議会事務局 飯干

電話&FAX 0985-85-2601

ホームページ <http://www.moridukuri.com>

Eメールアドレス iibo4jp@yahoo.co.jp